



報 會 同 窓 高 會

No. 47

2017年(平成29年)

9月10日(日)

編集・発行／福島県立会津高等学校同窓会会報委員会：発行人：会津高校同窓会会長 新城 猪之吉
〒965-0831 福島県会津若松市表町3-1 ☎：0242-28-0211 (代) F A X：0242-28-6680



平成28年度 同窓会総会



会津高校同窓会 会長

新城 猪之吉
(高21回)

精
而
雅

容保の政治信条と思われる標題の書が我家に飾ってある。「精」とは今でいう清という字であろう。

「而」は学而の字でもある人生。この字のように清らかにそして品よくありたいと願って書いたであろう。

私の母校の日新小学校の校歌に「清く正しく美しく」とある。これは松平信子様が書いた詞である。信子様は容保公の六男の恒雄様の奥方である。松平恒雄氏は東京大学卒業後、外務省に入り次官や駐米大使等を経て初代参議院議長を歴任した。その子が勢津子様で後に秩父宮家に嫁ぐ。「精而雅」も要約すると、清く正しく美しくであろう。彼女も松平家の血を継いだ者として同じことを思い書いたと思う。今の政治家に贈りたい言葉である。

どうも最近高学歴なのに品が無い人を多くみる。政治家とは国民の上でもなければ下でもないと言った人がいたが、それから考えると国民そのものに品が無くなったのか？確かに一部の全国紙の記事にも偏見が見られ、二大週刊誌もただのスクランダル誌になり下つたと思えない。役人と政治家の「記憶にない」という答弁は、今始まったことではない。昔から政治の舞台で事件がおき追求された側の答えはいつも「記憶に無い」の繰り返しであった。でも昔会津には、「精而雅」の人が一杯いた。来年度150周年を迎えるのにあたって、あの時代の会津人を顕彰すべきと思う。その代表者の3人について書いてみたい。

縁があり最近青森県三沢市に行き、会津藩士の広沢安任が開拓した日本で初めての牧場跡地へ行った。今は公園になっている。彼は日新館として昌平坂学問所に学びトップの成

績で卒業。京都守護職となった容保公に随行し公用方として活躍した。公卿・諸藩士と交流を持つ大事な役割を果たしていたが、戊辰戦争後に斗南へ行き青森県を作る為に働いた。そして貧困の会津藩士の為に牧場「開牧社」を設立。地域発展の為に尽した。この牧場を見学した大久保利通に政府入りを進められたが、「野にあつて国家につくす」と固辞。この地域の為に働き生涯を終えた。

もう一人は秋月悌次郎。彼も会津が生んだ秀才であり広沢と同じ道を歩む。京都の公用方で活躍。8月18日の政変を起し長州を追い出す等をしたが何故か突然、蝦夷地代官として京都を追われ左遷された。この人がいなくなつて会津藩は京の地において、各藩の動きが読めなくなり戊辰戦争へと追い込まれていった。この左遷命令を出した家老は誰か？この罪は重いと思う。戦後は政治の世界に戻ることなく子供への教育に生涯を捧げ、熊本第五高等学校の教師として多くの人材を育てた。彼の事は中村彰彦著「落下は枝に還らずとも」上下巻を是非一読。

そして柴五郎。彼の幼少のころの生き様は「ある明治人の記録」で有名。過酷な環境の中を生き抜き陸軍へ入隊。陸軍中佐の時、北京へ派遣され義和団の乱(1900年)が起きた。各国大使館がある北京城が時の一種の宗教団の義和団に囲まれ戦争状態に入る。これを沈着冷静に自分の部下を引き連れ義和団の乱を平定した。その時の彼とそして部下のつた行動は、敵を規律ある行動で治めたこととで、各国大使から高く評価され、後に会津人として初めて陸軍大將になった。この時のことが講談社文庫 松岡圭祐著「黄砂の籠城・上下」にある。会津人ならば是非一読。

昨年4月以来、校長として母校での勤務2年目となります。同窓会の皆様には、常日頃より母校に對しまして、多大なるご支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

今年も新年度が始まって以来、恒例の応援歌練習、OBによる剣舞委員会への指導を経て、4月24日に晴天のもとでの飯盛山白虎隊士墓前での剣舞奉納、また、同28日には中田浜の強歩大会が無事終了しました。(昨年は、豪雨のため中止、今年は、インフノレエンザの流行もありました。)

まず、今春の進路状況でございますが、この春の卒業生は、国立大学に現役116名の合格、中でも東京大学に現役で3名(県内トップ)、センター理系県内トップの生



現役生・大活躍

校長 山内 正之

徒も本校生(東北大学、県立医大は現浪併せて、それぞれ11名、4名の合格者を出すことができました。

国立大学の合格者が低落傾向(120↓101↓87)から上昇し、例年並に戻った印象を感じております。さらなる国立大学合格者の増加、私立大学の底上げ、そして、特に本校に求められる難関大学への合格に向けて取り組んでいきたいと考えております。

次に、部活動におけるこれまでの活躍を紹介しますと、陸上部と端艇部がインターハイ全国大会出場を果たし、水泳部も自由形で県1位の選手が現れました。また、野球部も夏の甲子園県大会でベスト16の活躍を見せてくれました。さらに吹奏楽部が県大会出場を決めましたし、合唱部は昨年10月全国大会で第2位に相当する金賞をい

ただき、今年の活躍も期待できます。

また、一昨年度から取り組んでおります「復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業」では、昨年度、恒例のアメリカ研修に加え、台湾研修が実施されました。

また県立博物館と連携し、震災の甚大な被害や教訓を伝える「震災遺産」に触れる活動に取り組み、実際に被災地にも足を運びました。そして、全国で約800名の中から40名(県内から1名、東北3名)の中に選ばれ、高校生外交官として、この夏休みに米国に派遣された生徒(3年生)も現れています。(「AIU高校生国際交流プログラム」)

このように後輩たちは、文武両道を目指して、それぞれに努力し、充実した高校生活を送っております。

以上のような生徒の活躍は嬉しい限りですが、それに伴い、生徒の派遣経費が増大し、生徒会活動後援会の積立残高がおよそ500万円に減少してしまい、今年度中の枯渇が心配されるような状況です。今後クラス減が予想される中、生徒への補助率の削減等の努力はしますが、同窓会には、よりいっそうのご支援をお願いするようになるかもしれません。その時にはなにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

いずれにいたしましても、生徒たちがこのように生き生きと学校生活を送ることができ、同窓生の皆様の温かいご支援があるからであると改めまして感謝申し上げます。

今後とも、皆様の母校へのご支援をお願いし、挨拶とさせていただきます。

■山内 正之先生プロフィール

昭和33年生れ 高29回卒。
勤務地。県立聾学校。田村高校。安積高校。福島女子高校(橘高校)。県教育庁指導主事。会津学鳳高校教頭。白河旭高校教頭。県教育庁企画主幹。会津学鳳中・高校長。現職

目次

「精而雅」 同窓会長 新城猪之吉 1
「現役生・大活躍」 学校長 山内 正之 2

平成28年度総会報告 3

●記念講演(概略) 黒岩 正明氏

平成28年度会務報告・平成29年度事業計画案 4

平成28年度決算報告 平成29年度予算案 5

四地区から 在京地区同窓会 9
関西地区同窓会 8
中部地区同窓会 7
北海道地区同窓会 6

支部活動 塩川支部・南会津支部 12
下郷支部・会津高田支部 11
猪苗代支部・河東支部・湯川支部 10

学年便り 中52・53回・中55回・高2回・高3回 17
高4回・高5回・高6回 16
高7回・高11回 15
高12回・高16回・高17回 14
高35回・高43回・44回・45回・通信教育部 13

平成28年度同窓会総会報告

28年の同窓会総会は9月11日(日)ワシントンホテルで開催され、290余名の参加があった。

総会に先立って、10時30分より母校「やすらぎの碑」前にて、この一年間の物故恩師・会員のご冥福を祈って恒例「献花式」が30余名の参列のもと行われた。

(32ページに写真)

総会は12時30分開会。黙祷、校歌斉唱、会長挨拶の後、母校校長・PTA会長・会津若松市長のご祝辞が続き、議事に入った。

議長は、高31回が当番で武藤公一氏が選出された。まず、昨年度の会務報告・会計報告(別掲)・監査報告を承認し、次いで本年度事業案・予算案(別掲)について審議し、満場一致で承認された。引き続き昨年発行の会員名簿の件と協賛金の現状について説明があり、最後に「学而さくら会」より同窓会へ金一封の贈呈があつてすべての議事終了となつた。



2016.09.11



講演後は会場を移し、15時30分より懇親会となる。ご来賓を代表して、在京同窓会長石田桂久氏(高10回)のご祝辞をいただき、関西同窓会相談役遠藤孝雄氏(高11回)による乾杯のご発声で祝宴となつた。

宴もたけなわとなつたところで、本同窓会相談役中村洋一氏(高13回)のメール披露があり、高27回木村豊氏による凱旋歌の指揮で盛り上がりもピークとなつた。副会長戸川稔朗氏(高19回)の中締めに、来年の再会を期して全て終了した。



2016.09.11 15:47



記念講演会は13時30分より「野球部時代とその後の人生」と題して、講師の黒岩正明氏(高12回)がご自分の人生を熱く語られた。黒岩氏は本校が昭和34年に甲子園大会へ出場した時のピッチャーであり、今も話題の人である。(講演概略は30ページ)

同窓生寄稿

「会津の忘れ去られた鍛冶文化」

山内 正行(高21回)

18

母校は今

平成29年進路一覽
部活動の記録

二〇一七年三月一日発行「学而会雑誌」から

20・21

前期学而会会長 馬場 真樹
後期学而会会長 芥川 礼央

22

同窓会「会長杯」

- ゴルフ大会 ・ ゴルフ大会成績表 23
- 囲碁大会 ・ 囲碁成績表・大会役員 24
- 将棋大会 ・ 協賛企業一覽 25

平成29年度協賛金納入者名 26・27・28

同窓生寄稿 「子供たちの輝く目」 29

塚原 大貳(高21回)

黒岩正明氏・講演内容概略
平成29年度・学校職員人事異動

お祝い・おくやみ

会報編集委員・編集後記

30 30 31 32

平成28年度会務報告

(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

1. 平成28年度 総会
 - 日 時 平成28年9月11日 (日)
 - 午後12時30分～午後17時
 - 場 所 会津若松ワシントンホテル
 - 出席者 294名
 - 記念講演 黒岩正明氏 (高校12回)
 - 演題 「野球部時代+その後の人生」
2. 物故会員追悼慰霊祭
 - 日 時 平成28年9月11日 (日) 午前10時30分
 - 場 所 母校前庭「やすらぎの碑」前
 - 物故会員 恩師6名 会員110名
3. 支部・地区総会出席

会高県職員親睦会総会	平成28年 7月 4日 (月)
南会津支部総会	平成28年 7月15日 (金)
会津坂下支部総会	平成28年 7月15日 (金)
河東支部総会	平成28年 7月22日 (金)
塩川支部総会	平成28年10月29日 (土)
市役所職員同窓会総会	平成28年11月 1日 (火)
下郷支部総会	平成28年11月12日 (土)
湯川支部総会	平成28年11月19日 (土)
猪苗代支部総会	平成28年11月23日 (水)
会津高田支部総会	平成29年 4月30日 (日)
関西同窓会総会	平成28年11月 5日 (土)
在京同窓会総会	平成29年 4月16日 (日)
北海道同窓会総会	平成29年 5月20日 (土)
中部地区同窓会総会	平成29年 7月 9日 (日)
4. 会報発行
 - 第46号同窓会報
 - 発行部数6,700部
5. 「会長杯」ゴルフ・囲碁・将棋大会
 - 開催日 平成29年5月5日 (金)
 - 第9回ゴルフ大会 184名参加 「会津磐梯CC」
 - 第8回囲碁大会 22名参加 「ルネッサンス中の島」
 - 第6回将棋大会 10名参加 「ルネッサンス中の島」
6. 激励金贈呈 (全国大会出場クラブ)
 - 端艇部 15万円 (参加者10名) 岡山県開催
 - 陸上部 12万円 (参加者 8名) 鳥取県開催
 - 合唱部 90万円 (参加者78名) 香川県開催
(同窓会80万円+市職員同窓会10万円)
7. 学校行事出席

第69回卒業式	平成29年 3月 1日 (水)
母校離任者送別会	平成29年 3月27日 (月)
平成29年度入学式	平成29年 4月10日 (月)
母校着任者歓迎会	平成29年 4月28日 (金)
中田浜強歩大会応援	平成29年 4月28日 (金)
8. 各種団体行事出席

戊辰殉難者秋季祭	平成28年10月23日 (金)
白虎隊士秋季墓前祭	平成28年10月24日 (土)
戊辰殉難者秋季祭	平成29年 4月23日 (日)
白虎隊士秋季墓前祭	平成29年 4月24日 (月)
9. 定例幹事会

第1回定例幹事会	平成29年 5月27日 (土)
第2回定例幹事会	平成29年 7月29日 (土)
10. 各委員会

会報委員会	随時開催
名簿委員会	随時開催
11. 会計監査 平成29年 7月25日 (火)
12. 役員会 随時開催

平成29年度事業計画 (案)

(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

平成29年		平成30年	
7月 3日 (月)	会高県職員親睦会総会	3月 1日 (木)	第70回卒業式
7月 5日 (水)	南会津支部総会	3月下旬	母校離任者送別会
7月14日 (金)	会津坂下支部総会	4月 9日	平成30年度入学式
7月22日 (土)	河東支部総会	4月15日 (日)	在京同窓会総会
7月25日 (火)	激励金贈呈 (端艇部、陸上部)	4月23日 (月)	戊辰殉難者春季祭典
7月25日 (火)	会計監査	4月24日 (火)	白虎隊士春季墓前祭
7月26日 (水)	激励金贈呈 (社会弁論部)	4月下旬	会津高田支部総会
7月29日 (土)	第2回定例幹事会	4月27日 (金)	中田浜強歩大会応援
8月 2日 (水)	激励金贈呈 (水泳部)	4月27日 (金)	母校着任者歓迎会
9月10日 (日)	平成28年度総会	5月 5日 (土)	「会長杯」ゴルフ・囲碁・将棋大会
〃	物故会員追悼慰霊祭	5月中旬	第1回定例幹事
〃	第47号同窓会報発行	5月下旬	北海道同窓会総会
9月23日 (土)	戊辰殉難者秋季祭典	6月中旬	中部地区同窓会総会
9月24日 (日)	白虎隊士秋季墓前祭	7月下旬	会計監査
10月中旬	市役所職員同窓会総会	8月中旬	第2回定例幹事会
10月下旬	下郷支部総会	9月 9日 (日)	平成30年度総会
11月上旬	塩川支部総会	〃	物故会員追悼慰霊祭
11月中旬	関西同窓会総会	〃	第48号同窓会報発行
11月中旬	湯川支部総会		
11月下旬	猪苗代支部総会		

※ 役員会並びに各委員会随時開催

平成28年度決算報告

(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

一般会計

収入総額 4,754,227 円
 支出総額 3,928,342 円
 差引残高 825,885 円 (次期繰越金)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	724,015	事務局費	123,298
入会金	1,360,000	総会費	118,774
協賛金	2,492,000	会報発行費	726,667
雑収入	178,212	会合経費(地元外)	676,430
繰入金	0	会合経費(地元)	80,500
		慶弔費	16,392
		卒業記念品費	252,633
		会議費	83,000
		通信費	290,268
		基金(入会金)	1,360,000
		手数料	93,860
		雑費	106,520
		予備費	0
合計	4,754,227	合計	3,928,342

以上報告致します。 一般会計幹事 上野忠紘(高55回)

基金会計

収入総額 26,206,056 円
 支出総額 1,586,316 円
 差引残高 24,619,740 円(次期繰越金)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	24,842,744	全国大会出場激励金	1,070,000
繰入金(一般会計より)	1,360,000	トレセン排煙窓修繕費	516,316
預金利息	3,312		
合計	26,206,056	合計	1,586,316

財産目録 普通預金 9,481,685 円
 定期預金 15,138,055 円
 計 24,619,740 円

以上報告致します。 基金会計幹事 古川和則(高41回)

会報委員会会計

収入総額 468,334 円
 支出総額 74,284 円
 差引残高 394,050 円 (次期繰越金)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	153,869	会議費	53,760
広告収入	314,460	通信費	0
雑収入	5	取材費	14,000
		事務用品費	6,524
合計	468,334	合計	74,284

以上報告致します。 会報委員会会計 大木孝之(高43回)

名簿委員会会計

収入総額 739,483 円
 支出総額 0 円
 差引残高 739,483 円 (次期繰越金)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	739,457		
預金利息	26		
合計	739,483	合計	0

以上報告致します。 名簿委員会会計 千葉宏(高8回)

会計監査報告

監査の結果、「一般会計」「基金会計」「会報委員会会計」「名簿委員会会計」について適正に執行されていることを認めます。

平成29年7月25日

監事 宮澤洋一(高26回)

監事 酒井幸一(高27回)

平成29年度会計予算(案)

(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

一般会計

収入

(単位:円)

科目	金額	備考
繰越金	825,885	前年度繰越金
入会金	1,360,000	5,000円×272名
協賛金	2,500,000	
雑収入	50,000	利息等
合計	4,735,885	

支出

(単位:円)

科目	金額	備考
事務局費	200,000	事務用品費、役員名刺等
事業費	80,000	学校事業補助
総会費	150,000	同窓会総会補助
会報発行費	700,000	会報印刷費
会合経費(地元外)	600,000	在京、関西、中部、北海道総会
会合経費(地元)	100,000	支部総会、墓前祭
慶弔費	20,000	花環代
卒業記念品費	250,000	卒業記念品、卒業証書用筒代
会議費	100,000	役員会会場費等
通信費	60,000	切手等
HP作成管理費	300,000	作成費
基金	1,360,000	基金会計へ(入会金)
手数料	90,000	協賛金振込手数料
雑費	100,000	広告代
予備費	625,883	
合計	4,735,883	

※科目間の経費の流用は会長一任

会計幹事 上野忠紘(高55回)

四 地 区 か ら

在京同窓会

「同窓会の人々の輪を拓げよう！」

会長 大越 康弘 (高13回)



今年4月の同窓会総会で石田桂久氏の後をついで会長に選任された大越です。

在京会津高校同窓会は昭和29年に創設されており、私が第6代目の会長ということになります。

会員は現在2000名程ですが、これは首都圏に在住する会津高校卒業生全体に比し少数であり、高齢者への偏りがあります。従いまして会を発展させるためには、卒業生の皆さんが同窓会に「参加してみよう」という気にさせるような活動内容及び運営をしていく必要があると痛感しております。

活動内容としては、総会のほか、文化講演会、歴史探訪の旅、芋煮会、ゴルフ、麻雀など趣味同好会的なことをやってきましたが、働き盛りの比較的若い会員にも参加インセンティブを持つてもらうために2年ほど前から会員間で諸般の情報交流ができ、仕事上でも有益となる世代交流会を行っています。そしてまた今年から、卒業して大学に学ぶ会津出身の大学生に対し、世の中の大きな動きや、経済社会動向や就職活動などについて、学識・経験豊かな諸先輩の話が聞け、相談もできる学生セミナーを始めることにしました。

このように活動内容を充実しても参加するか否かは個人個人の判断であり、この判断を左右するのが友人からの誘いです。一人で行ってもつまらないと思っても、友人と一緒に久しぶりに友情を温め、人の輪となつて談

笑できるので行く決心が出来るようです。

人の縁は非常に大事なもので、その人と知り合いになれたために人生が開かれたとか、その後転機が訪れたということがよくあります。是非とも同じ会津高校を出た者同士という縁、絆を大切に、場合にに応じて助け合い、励まし合つてより良い人生にしていきたいと思います。思っております。在京同窓会としましてもこのような絆人の輪を育てられるような会にすべく努力してまいりますので、皆様方のご提案、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

「活動状況」 幹事長 山寺 清蔵 (高17回)

【総会】 平成29年4月16日(日)上野精養軒に一六〇余名が集り、任期満了に伴う役員改選を行い、会長に大越康弘氏(新・高13回)、副会長に佐々木毅氏(再・高13回)、新井田傳氏(再・高15回)、大平隆司氏(新・高15回)芳賀克己氏(新・高16回)、幹事長に山寺清蔵氏(再・高17回)、副幹事長に菅家敏之氏(再・高22回)、佐藤学氏(再・高25回)、佐藤光利氏(新・高27回)、会計に早坂嘉朗氏(再・高14回)、金田大作氏(新・高26回)、監査に長沼種臣氏(再・高12回)、荒井伸吉氏(新・高17回)を選出し、石田桂久前会長、加藤仁前副会長、遠藤暢喜前監査は相談役に就任、前副幹事長の天野康弘氏と前会計の福田喜正氏は退任されました。恒例の会員スピーチは河野和彦氏(高17回)が「不動産業から茶道師範への道」と題して、不動産会社から茶道師範に転進したいきさつと、茶道、茶事のいろいろについてわかり易く話されました。懇親会は地元同窓会戸川副会長の発声で乾杯、宴もたけなわとなると卒回毎に定められた席もそつちのけで、会場内のあちこちに歓談の輪が広がりました。

【会津歴史探訪の旅】 6月3日〜4日で藩祖正之公の生母・お静の方ゆかりの地、甲斐、高遠、八王子を訪ねま

した。

【文化講演会】 7月5日、作詩家の石原信一氏(高19回)が「恋する会津」と題して、ご自分の中の会津のDNA「身を挺して義を尽す」を熱く語られました。

【その他の催し物】 親睦囲碁大会、会津学生セミナー、歩こう会、芋煮会、川島杯ゴルフ大会、新春麻雀大会、世代交流会(賀詞交換会)など

第1回会津学生セミナーのご案内

在京会津高校同窓会は会津出身の学生の皆さんのこれからの洋々たる人生に、何かお役に立てることはないかと検討して参りましたが、この度、各方面で活躍している会津出身の社会人を講師に招いて、下記の通りセミナーを開催することにしました。経済・社会動向、今後のキャリア設計、就職活動、生き方などについて、学識・経験豊かな緒先輩の話を開き、相談することもできますので、皆さん友人をお誘いの上奮って参加願います。

1. 日時：平成29年10月8日(日)14時より約2時間半
2. 場所：ホテルグランドヒル市ヶ谷(新宿区市谷本村町4 Tel.03-3268-0111)
3. 講師および演題：
福田徹氏(高13回、クリエイティブマネジメント研究所代表)
「企業等が求める人材」
目黒公郎氏(高33回、東京大学教授、都市震災軽減工学博士)
「人生における学制時代の意味とその時代に認識しておくべきこと」
本田勝之助氏(高45回、内閣府クールジャパン地域プロデューサー)
「都市と地方の仕事と暮らし」
4. 会費：無料
5. 講演会終了後、小グループに分かれて懇談会を実施。
6. 問い合わせ先：同窓会事務局 03-5261-0102

関西同窓会

「故郷雑感」再び故郷・会津を想う」

会長 管家 大幸（高14回）



過日、会津に帰省する機会があった。街を歩いていて爽やかに感じたのは、子どもたち（小学生から高校生まで）が元気に挨拶をしてくることである。東北のとある県の学力水準が高い背景に、子どもたちが日常の挨拶や目上の人への尊敬の念を忘れないことがあると聞いたことがある。会津も同様の道を歩んでいると確信した。

次に耳にしたことは、産業復興を目指した街創りの動きである。その一環としてICT（情報通信技術）関連企業の誘致・技術集積を図る施設を建設するとの話。工場誘致には若い労働力の確保が不可欠であり、今の会津ではそれは中々難しいと聞く。そうした中で、会津大学を抱える地元として目を向けたのがこの方向であろう。流石だと思った。更に、漆器や陶芸等の伝統工芸を活かした歴史観光都市も又会津の生きるもうひとつの方向で、この両輪がうまく機能すれば会津の未来は明るいものとなるだろう。

歴史観光都市と言えば、今年から来年にかけて明治維新150年を迎えようとしている。地元では「戊辰150年」と称し、様々な行事が考えられていると聞く。ぜひ「恨みの祭典」にはしないで欲しい。「過去を忘れろ」と言っている訳ではないし、一部の人たちが口にする都合のよい「未来志向」を言っている訳でもない。過去に拘るだけでは、明治（否、戊辰）以降、逆境を撥ね退けて雄飛した先輩諸氏・諸姉の高い志を無に思うからである。「戊辰が

に拘る思いがあるなら、30年後に巡って来る3度目の「戊辰180年」を次なる「節目」とした魅力的な地方都市創りをスタートさせて頂きたい。全国のモデルとなるような地方都市を創るには、これぐらい長期視点に立ったしつかりしたランドデザインに知恵と時間を掛けた取り組みが必要と思われる。それでこそ会津と言えるのではないだろうか。（了）

「活動状況」 幹事長 佐々木 繁（高20回）

(1) 第24回総会

平成28年11月5日(土)、「ホテルプリムローズ大阪」で総勢42名の参加を得て開催。内訳は、会員23名、来賓9名、学生10名。

総会に先立つ「会員スピーチ」は、平山誠一様（高14・在京同窓会会員）にお越し頂き、「近代日本海運を支えた山国・会津の船乗りたち」の題でお話し頂いた。これは在京・本部各同窓会での講演に引続くもので、最新の調査情報を加えての名講演であった。

総会は、松本保雄幹事（高15）の司会で進行。管家会長（高14）の開会挨拶に続き、会務報告、会計報告の後、平成27年度予算案を審議・承認した。

来賓挨拶では、本部同窓会会長の新城猪之吉様（高21）からは、同窓会名簿発刊協力への謝辞、蒲生氏郷奉賛会立ち上げのこと、合唱部の活躍等、母校・故郷の様子をご紹介頂いた。山内正之校長からは、共学が16年目に入り、野球部・陸上部をはじめとして文武両道での在校生の活躍のお話を頂いた。その後、中学校歌、高校校歌を合唱し総会を終了した。

懇親会は、菊地泰次様（中46）の音頭で乾杯。来賓のスピーチに移り、在京同窓会の大越康弘副会長と中部地区同窓会の大内哲男会長から各地区の活動内容等の紹介をして頂いた。更に、若い学生諸君に学業のことや今後

の抱負などを披露してもらい、会女・葵高校同窓会関西支部の新田弘美支部長のクイズ出題や会女OGのスピーチ、最後には、故今村静生様（中47）作詞作曲の「元気で、さようなら」を故人を偲びつつ合唱し、華やかで賑やかな懇親会を終えました。

(2) 散策会

当同窓会の特色ある活動として年3回ほど関西の史跡を巡る散策会を実施している。第1回「大阪城真田丸遺蹟」、第2回「大阪最古の洋館・泉古館とその周辺」、第3回「堺市歴史遺蹟」を散策。毎回10名前後が参加し史跡巡りと懇談会を実施。

(3) その他の活動

そのほか、「定例懇談会」を年5回実施。各地区同窓会総会への出席や、恒例の会高生による黒谷での剣舞奉納に参列し、激励を行う。以上

四 地 区 か ら



中部同窓会

「活動状況」

幹事長 林 誠三郎 (高19回)

平成29年度の中部地区同窓会総会は平成6年度から恒例となっておりますが、今年で30回になりました。会津女子高校同窓会（松操会）との合同総会として平成29年7月9日(日)12:00より開催いたしました。今年は、再開発が進む名古屋駅前のホテルで日中の開催といたしました。会津や関西からの来賓を含めて総勢24名が集いました。

司会進行役は会高鈴木幸喜さん(高21回)、と会女岩淵さち子さん(高18回)が務めました。総会は、小林秀明副会長(高15回)の開会宣言。会員物故者への黙祷。大内哲男会長(高13回)の挨拶。つぎに、林誠三郎幹事長(高19回)より会務活動報告及び会計報告がありました。会務活動については、恒例になりました秋の芋煮会と2年毎に発行する文集(会津嶺の心で結ぶ中日本・第6号)の紹介がありました。大東祥順監査役(高5回)から監査報告が行われました。今年役員改選の年にあたり、新会長に小林副会長が指名され、満場一致の拍手を持って承認され総会は滞りなく終了しました。

総会に先立ち、恒例となった講演会を実施しました。今年には会女側が当番なので、沼田真由みさん(高35回)による『ふるさとへのオモイを舞う』と題し、コンテンポラリーダンスを披露して頂きました。また簡単ストレッチコーナーもあり、会員の皆様にはすてきなダンスに魅了されつつ心おだやかに、体もほぐれた30分間でした。

ここで恒例になりました集合記念写真の撮影。



次に来賓として、昨年4月に校長に着任された山内正之校長(高29回)から母校の進学状況や運動部の活動状況および新しい取り組みなどが紹介されました。特に今年は、現役東大の入学生数が県内単独トップになった話や部活動が好成績を挙げ、遠征費が枯渇しつつある嬉しい悲鳴である。佐々木繁関

西会高同窓会幹事長(高20回)から活動状況や是非今年甲子園出場を期待する話などありました。最後に林健幸副幹事長から会津の現状と、同窓会からも在校生への活動支援を積極的に進めるなどの話。安西廣恭氏(高10回)の乾杯の御発声で親睦会に移りました。酒は会津から取り寄せた地酒で一段と盛り上がり、そこかしこで話の輪が出来上がり、故郷会津を思い出しての「ふるさと」、小池秀夫元会長のハーモニカ、懇親会会場には、昨年秋に開催し恒例になった大高緑地公園での芋煮会のアルバムが回覧されて話題になりました。最後には会津磐梯山の盆踊りで盛り上がりました。

中締めは、大東祥順氏(高5回)の万歳三唱で無事に総会と懇親会を終えることができました。

中部支部役員(敬称略)
 幹事長 小林秀明(高15回)
 監査役 大東祥順(高5回)
 監査役 佐藤信恭(高7回)
 顧問 大内哲男(高13回)

幹事 大島暁爾(高18回)
 幹事 星 金次(高19回)
 幹事 鈴木幸喜(高21回)
 幹事 大東祥順(高5回)
 幹事 鈴木幸喜(高21回)



平成28年 芋煮会

北海道同窓会

「白虎隊唯一の生存者、飯沼貞吉氏について」

会 長 原 健 蔵 (高8回)



退任され、私が後任として選出されました。年齢的にもショートリリーフと考えておりますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。太田原前会長には、永年のご苦勞に対し会員一同、深く感謝とお礼を申し上げます。



北海道同窓会が毎年の総会を札幌第一ホテル(中央区南7西1)で開く理由は、会津とのゆかりが深いからです。ホテルの玄関横に会津藩白虎隊士、飯沼貞吉氏の碑があります(碑文を別項に)。飯沼氏と同様、私どもは会津を出て北海道で生きているわけで、この碑を見るたびに偉大な先輩を見做い、しっかりと北海道で生きていくという気持ち再確認できるからです。

撰文

飯沼貞吉(後の貞雄)は安政元年、会津藩士の家に生る。慶応4年(1868年)戊辰戦争の際、白虎隊士として出陣するも飯盛山で同士と共に自刃、唯一蘇生、白虎隊のすべてを後世に伝え、歴史の貴重な証言者となる。明治5年通信界に入り、不撓の努力と卓越せる技術をもって、わが国通信事業の先駆者として同38年(1905年)より5年間札幌に勤務、この地に在任す。謹敵寡黙、北海道産業の振興に貢献、大正2年まで実い40余年、通信技術者としての足跡偉大なり。昭和6年、仙台にて没、享年78歳。

(平成元年、N T T北海道支社と北海道会津会などが建立。書は会津松平家十三代、松平保定氏)



「活動報告」幹事長 高橋 孝一 (高22回)

(総会・懇親会)

5月20日、約40名が参加して札幌第一ホテルで開催。会務、会計報告と事業計画、予算案をそれぞれ承認したあと役員を改選した。平成21年(2009年)の設立から同窓会を牽引してきた太田原高昭会長(高10回)に代わり、新会長に原健蔵氏(高8回)を選出した。太田原氏は相談役。また副会長を2人体制として伊藤忠孝監事(高16回)を新任した。役員は次の通り(◎は新任)。

- ▽会長 ◎原健蔵(高8回)▽副会長 長嶺正紀(高11回)◎伊藤忠孝(高16回)▽幹事長 ◎高橋孝一(高22回)▽会計 弓田仁(高19回)▽監事 星宙(高13回)
- ◎間部賢司(高13回)▽幹事 ◎満田智(高22回)弓田信(高24回)▽相談役 ◎太田原高昭(高10回)

なお総会には本校から戸川稔朗同窓会副会長(高19回)山内正之校長(高29回)のほか千葉宏(高8回)山口光彦(高30回)両氏が出席。会女同窓生も参加しての講演会は札幌・円山リラクリニック理事長の森田裕子医師が「これから始まる価値ある未来、心と体の健康づくり」をテーマに健康と若さを保つ秘訣を楽しく話してくれた。

(歴史探訪)

平成28年は8月に1泊2日で道南のせたな町へ。会津藩元家老丹羽五郎が猪苗代の農民らと入植した北松山・丹羽地区、会津経済人が移民を主導した若松地区などをじっくり見学、知識を広めた。今年の第4回歴史探訪は10月、札幌・山鼻屯田兵村を予定。

(芋煮会)

平成28年は10月1日、22名が参加して例年通り北大農場内で開催。好天に恵まれ盛会となった。

(その他)

夏のビール会を7月23日に大通ピアガーデンで、忘年会は12月3日、スキノで催した。



支部活動

塩川支部



28年度の塩川支部総会は

10月29日喜多方市塩川町の「粹旬」で行われました。

来賓として同窓会本部から戸川稔朗副会長、隣接の

湯川支部から吉田誠一副支部長をお迎えし、支部会員

28名の出席のもと開催されました。

物故会員への黙祷のあと、會津中学及び会津高校の校歌を斉唱し、須田敬支部長の挨拶、戸川副会長及び吉田湯川副支部長の来賓祝辞が行われました。

議事においては、27年度事業報告及び決算報告、28年度事業計画及び予算が原案のとおり承認、決定され

ました。

総会終了後、本年度入学の新入生7名に対して、支部長から祝福と激励を兼ね記念品(図書券)の贈呈が行われ、新入生からは学校生活の状況や今後の抱負などについて発表していただきました。

続いて参加者全員による記念撮影のあと懇親会が盛大に行われました。参加者は、相互の親睦を深め合いながら、有意義なひと時を過ごしました。

幹事長齋藤正之(高23回)記

伝統ある南会津支部平成29年度定期総会を7月5日本部から幹事長太田伸氏、相談役千葉宏氏をお迎えし、支部会員28名が出席して町内の丸山館で開催された。

物故会員の黙祷後、室井紘一(高11回)支部長の挨拶、太田幹事長からは母校の近況報告があり、後輩諸君が各分野の全国大会等で活躍している事は、私達が学んだ「好学愛校、文武不岐」

南会津支部

の精神が脈々と継承されていることに、大いなる喜びを感じた。さて、議事では、平成28年度事業報告及び決算報告、平成29年度事業計画(案)及び予算(案)が原案通り議決された。

今回の総会は、任期満了による、役員改選が行われ、支部長渡部雅俊(高14回)新副支部長渡部文一(高23回)再、同猪股裕一(高23回)新を選出した。渡部支部長は就任に当たって、私達は「縁」つまり血・地・学・職・好志の「縁」で生活をしている。地域では同じ「緋織鎧う若武者が」を唄った「学縁」の絆を一層強くして、地域貢献を含めて、本会組織の強化・拡大を図ることが、本会の更なる発展となることの決意を話した。

懇親会では出席者の最長老である渡部恒三先輩(高3回)から、卒業時が終戦で混乱期の中で新しい時代が来ると予感したとお話と乾杯のご発声で開宴し、先輩・後輩との親睦交流を深め合ったところ。その中で話題は、近年後輩

の精神が脈々と継承されて

いることに、大いなる喜びを感じた。さて、議事では、

平成28年度事業報告及び決算報告、平成29年度事業計画(案)及び予算(案)が原案通り議決された。

今回の総会は、任期満了による、役員改選が行われ、支部長渡部雅俊(高14回)新副支部長渡部文一(高23回)再、同猪股裕一(高23回)新を選出した。渡部支部長は就任に当たって、私達は「縁」つまり血・地・学・職・好志の「縁」で生活をしている。地域では同じ「緋織鎧う若武者が」を唄った「学縁」の絆を一層強くして、地域貢献を含めて、本会組織の強化・拡大を図ることが、本会の更なる発展となることの決意を話した。

懇親会では出席者の最長老である渡部恒三先輩(高3回)から、卒業時が終戦で混乱期の中で新しい時代が来ると予感したとお話と乾杯のご発声で開宴し、先輩・後輩との親睦交流を深め合ったところ。その中で話題は、近年後輩

の精神が脈々と継承されて

いることに、大いなる喜びを感じた。さて、議事では、

平成28年度事業報告及び決算報告、平成29年度事業計画(案)及び予算(案)が原案通り議決された。

今回の総会は、任期満了による、役員改選が行われ、支部長渡部雅俊(高14回)新副支部長渡部文一(高23回)再、同猪股裕一(高23回)新を選出した。渡部支部長は就任に当たって、私達は「縁」つまり血・地・学・職・好志の「縁」で生活をしている。地域では同じ「緋織鎧う若武者が」を唄った「学縁」の絆を一層強くして、地域貢献を含めて、本会組織の強化・拡大を図ることが、本会の更なる発展となることの決意を話した。

懇親会では出席者の最長老である渡部恒三先輩(高3回)から、卒業時が終戦で混乱期の中で新しい時代が来ると予感したとお話と乾杯のご発声で開宴し、先輩・後輩との親睦交流を深め合ったところ。その中で話題は、近年後輩

の精神が脈々と継承されて

の本案への加入が減少傾向にあるということ。現在各グループでの情報交換の意識が薄らいで来ているという現実が報告されました。私はふるさと愛・母校愛などは、地域で生活するため基本であると思っており、支部長渡部雅俊(高14回)記



下郷支部

平成28年度総会は、11月12日(土)、役場近くの鈴木屋旅館で開催しました。

物故者への黙祷の後、河合政弘支部長の挨拶、本部よりお迎えした千葉宏先生からのご祝辞並びに本部活動状況と後輩達が全国大会等で活躍している様子など母校の近況報告をいただきました。



27年度事業報告では、下

郷中学校からの28年入学生がいなかったこと、支部の新たな行事が開催できなかったことが報告されました。

次に28年度事業計画、予算案が原案どおり承認されました。役員改選が行われ支部長に河合政弘(高13回)副支部長に佐藤正文(高20回)佐藤仁夫(高22回)が再選されました。

総会終了後、懇親会が行われ、会津中学校・会津高等学校の校歌を声高らかに

合唱し、楽しいひとときを過ごしました。計画した行事を必ず開催するという約束をして閉会しました。29年4月、下郷中学校から4名の入学生があり、6

月20日に支部長他2名で母校を訪れ、山内正之校長同席のもと、新入生激励会を行い激励のことばと図書カードを贈りました。

6月24日(土)に支部会員の親睦を図るために、第一回下郷支部パークゴルフ交流会を大川ふるさと公園パークゴルフ場(写真)で開催しました。好天のもと、楽しく汗を流しながら、優勝を目指し頑張りました。大会後の表彰式、反省会は盛会のうちに終わることができました。次回は参加者を増やしていきたいと考えています。

事務局長 湯田嘉朗(高22回)記

会津高田支部

会津高田支部総会は、四月三十日(日)、新城猪之吉同窓会長、佐竹正徳教頭、会津美里町長渡部英敏氏(高11回)を来賓にお迎えし、二十一名が参加して、「宮廻」で開催された。物故会員に黙祷を捧げた後、会津中学・高校の校歌を斉唱した。

小林立治支部会長(高19回)が、「先輩方が培ってきたこの同窓会を、若い人が参加するよう声掛けし、同窓生の親睦を深め、充実した会にしていきたい。」と挨拶した。

新城猪之吉会長が、「戊辰戦争から百五十年、会津藩出身の柴五郎の活躍を題材にした松岡圭祐著の『黄砂の寵城』に感動した。会津人としては是非一読を薦める。ゴルフや囲碁・将棋大会など同窓会活動への参加もお願いする。」と挨拶した。

続いて渡部町長より、「私は十一回卒で組織したゾロゾロ会で活動している。念願であった美里町庁舎も平成三十一年二月の完成に向けて進めている。同窓会も若い人が参加するよう声掛けが必要だ。」と挨拶した。続いて、佐竹教頭からは、「東大に現役で三名が合格するなど、国公立合格者が三桁になりよく頑張った。合唱部をはじめ陸上、漕艇部など全国大会に出場している。引き続き同窓会の皆さんの支援をお願いしたい。」と挨拶した。

「観桜会」の前には、会津美里町誕生十周年を記念して制作された「町民の歌」美しきふる里」が、弓田秀樹副町長(高二十五回)より経過を含め紹介された。「観桜会」では、それぞれの高校時代の思い

たい。」と母校の現状について話された。その後、議事において、会報の発行を十月にし、役員改選では会長に新田銀一氏(高二十二回)を選出し、総会を閉じた。

「観桜会」の前には、会津美里町誕生十周年を記念して制作された「町民の歌」美しきふる里」が、弓田秀樹副町長(高二十五回)より経過を含め紹介された。「観桜会」では、それぞれの高校時代の思い

出話(修学旅行の交通手段と行程の違い)、健康のことなどで大いに話に花が咲いた。幹事長 五十嵐栄 (高27回)記



猪苗代支部



28年度の支部総会は例年通り11月23日勤労感謝の日に開かれた。今年度の当番は長瀬地区で会場はホテルリステルで行われ、来賓として須田敬副会長、猪苗代地区保護者会長小鮎良平氏をお迎えし会員185名中34名の出席があった。今回は平成卒者が3名出席し若返りの兆しが見えることは喜ばしいことである。

河東支部

傘寿祝いが高7回卒の松江宏良氏二瓶比左四氏の2名に贈られ、講演会に移った。今年は、町内小川医院内科医今田かおる先生が「福島でどう生きるか」在宅緩和ケア及び福島県甲状腺検査確認医としてと題して講演された。先生は外来診療、在宅診療のほか甲状腺検査認定医として福島原発事故による小児甲状腺がんへの取り組みに県内広く精力的に活動しておられる。講演の中ではチェルノブエリ原発事故の現地

平成29年度河東支部第35回総会は、7月22日に広田駅前「おおたや」に於いて、同窓会本部より、太田伸幹 会長をお迎えし、開催されました。

初めに物故者への黙祷を行ない、会津中学・高校の校歌の斉唱をしました。続いて笠井武彦支部長の挨拶があり、恒例の事業となっている新そば会や河東中学校からの合格者への記念贈呈が6名あったことが報告されました。

来賓の太田伸幹 会長より祝辞があり、ゴルフ、囲碁、将棋大会の開催等、近況の活動概要の報告と、協賛金の協力への御礼、また本会として、今後「同窓会への若手会員の理解と参加を求めため、「ホームページ」を立ち上げて行く。」とお話がありました。

我が国でもすぐ近くで世界でも例を見ない原発事故が起き、現在も事故が進行中と言つてもいい状態にある時、私たち福島県人としてははるか遠くの出来事ではないという認識をもたなければならぬことを改めて思つた次第である。



れました。次に役員改選が行われ、笠井武彦(高17回) 支部長以下現執行部の再任が決定されました。

H28年度の湯川支部総会は、11月19日喜多方市塩川町の「絆旬」を会場として開催されました。

来賓として同窓会からは、須田敬副会長(塩川支部長)、塩川支部からは、斉藤正之幹事長をお迎えして、支部会員22名のもとに行われました。

物故会員への黙とうの後、会津中学及び会津高校の校歌を斉唱し、高橋新支部長あいさつ、須田副会長の来賓祝辞が行われました。

総会終了後、現役高校生を交えて、懇親会の運びとなりましたが、これに先立ち、本年度に本校に入学した新入生3名に対して、支部長から祝福と激励を兼ね記念品(図書券)の贈呈を行い、新入生からは

学校生活の状況、今後の抱負を発表していただきました。今後の活躍に大いに期待したいところです。今回、現役の高校生は、6名中3名の参加でした。

懇親会では、日頃なかなか

湯川支部



か話すことのできない同窓生が集う貴重な機会ともなり、時間の経つのも忘れ、高校時代の懐かしい思い出、湯川村の将来についてなど良き情報交換会の場となったことは言うまでもありません。

総会の締めくくりには、元応援団の遠藤弘、神田武宜、坂内正隆によるリードで、恒例のエール、凱旋歌の唱和により、会員相互の絆を確認しながら閉会しました。

幹事長菅沼弘志(高29回) 記

中52・53回

「米寿を迎えて」

浦野 一郎 記

我々は、太平洋戦争末期に通年動員を体験した学年である。戦争の為に、学業から離れ空襲や飢えにさらされ、軍需工場で労働を強いられた私達である。中学三年生であった。その我々も米寿を迎えた。集う毎に語り継ぐべき事が山程あると



会津五三会の写真。16年10月12日 萬花楼

上段左より 岩本綾平、渡部欣一、小林賢、赤城良一、浦野一郎、中段左より、桑間恒雄、飯田耕治、遠藤孝、小林栄二郎、柴田良雄、佐藤政一、下段左より、平田稔、鈴木孝壽、小澤保治、星清、瀧口敦、山内左善、穴澤宇一郎。以上18名



在京五三会 米寿の会 19年4月3日

当日好天、満開の桜の下。会津松平家下屋敷所縁の六千坪の和風庭園を持つ、「綱町三井倶楽部」にて開催

写真上段左より 渡部昌吉、平田稔、瀧口淳、小澤保治、星清、下段左より 高橋庄平、鈴木孝壽、前田和雄、渡部仁 以上9名

中55回・高2回

「甲申会員の囲碁の楽しみ」

真壁 正 記

会員の高齢化と減少により、会員の相互親睦と扶助健康を願い、長きにわたり事業活動を推進してきたが昨年をもって解散のやむなきに至った。
更に、在京二期会も同じような状況により、解散している。

ただし、会が解散しても囲碁クラブは少ない部員ではあるが、毎月第三月曜日に城北小学校の北隣の田中屋さんで、お手合わせして楽しんでいく。
同窓会長杯の囲碁・将棋大会には数名参加した時もあつたが諸般の事情で代表のみが参加している。
部員は10余名、春の総会夏の暑気払い、秋の芋煮会忘年会・新年会と、碁と共に杯を傾け、餓鬼の頃にタイムスリップ、思い出を語り合い、昨今の世相政治経済までも話がはずみ、興が乗ってくると、カラオケが

はじまり、日本の歌、昭和の歌で盛り上がるのである。

このクラブの世話役は、佐藤中一君で連絡会計事務まで、一手に引き受け面倒みてくれている。

ボケ防止に、囲碁がいちばん。今後も元気で続けていこうと誓い合っている。

高3回

「最後の高三会同期会」

小松 忠夫 記

高三会同期会がいつから開催されるようになったのか、今では定かでないが、昭和62年に会則を制定し、地区ごとの輪番制として、年一回の総会を温泉一泊で実施してきた。東山温泉「向滝」の社長だった平田昇君が代表だったので「向滝」を会場とすることが多かったが、平成21年「母成リゾート」での会から、私小松が代表を引き継ぎ、最近では地元による運営が困難となり、「東鳳」で実施している。近年高齢化が進み体調不全の知らせも多く、「東京オリンピック」までは



ひと考えていたが、事務局・会計担当として活躍していた鈴木由郎君から辞任したいとの話もあり、世話人会で検討の結果、今年を最後として、同期会の組織を解

高4回

「自慢と感謝の高四会」

五十嵐 明 記

散することを提案、6月5日「東風」での会が最後の同期会開催となった。思えば、100名の同期生が集った還暦記念の会からでも四半世紀。よく続いたものと感慨深い。今年の名簿170名中、参加者は24名。関東地区など遠来の方は郡荘一郎君ただ1名だった。

木村貢君司会、古河潤一君議長の総会では世話人会からの提案理由の説明をし、了解をいただき、続いて最後の記念撮影。渡部恒三君には出演できなかった。懇親会には出席できなかった。懇親会は林輝敏君のリードで「駒のいななぎ」と「飯豊山の桜花」の二つの校歌を斉唱。大久保恭一君の挨拶。青春時代を懐かしんで、友と語らい、会津の銘酒に酔いしれ、終りには渡部浩二郎君のハーモニカの名演奏を堪能し、別れを惜しみつつ散会した。

なお、今後は高校三四卒を代表して、小松と鈴木由郎が同窓会と連絡をとっていく所存。同期生に異動ある際は連絡いただきたい。



旧制中学からの同級生六年同じ釜の飯そして世界を相手の戦争そして敗戦と大変なときを経験した同期の性が寄り添う集まりと感じることである。そして教えられること尊敬する同期生揃いで、そんな会のお世話役を仰せつかり幸せな老後と感謝している、この頃で

す。以前会津在住の有志会ハッスル会のことは会報で申し上げたと思いますが、毎月第3木曜日が例会で今月は4月に召された林保雄君を偲ぶ会を兼ね彼がこよなく愛した「えびや」で集まった。この会はスタートして60年を経て現在は小生が引き継ぎ30年余り難しい事です。4名の欠席で10人の出席でした。飛び入りも歓迎！
☎〇二四二・二二・七八五一へどうぞ！

高5回

「同級生の近況」

栗木治一郎 記

7月1、4日、西国33観音詣に参加（35名）、京都市内を主に参拝と観光に汗をかいた。東寺、金閣寺、二条城、東・西本願寺のほか八ヶ寺に詣で般若心経唱和の先達を務めた。妻が黄泉に入り11年余、毎年関西地域を参詣したが、此度は世界遺産へ寺札にあたり、中国人、東南アジア（イスラム系）人が、驚くほど多



勢いた。とりわけ、中国人の傍若無人ぶりが多くの不快感を与えていた。次世代への影響は測り知れぬが異民族と付きあうのは難事だと実感した。さて、同級生の動静は関東方面が薄く会津地域にとどめたい。四年前、呼80才を期に東山温泉で開催の同級会は25名程度の参加を得たが、毎年開催の熱望を述べた赤城定男君が逝去し、声が聞こえない。昨年末の同窓会名簿刊行に際しては大堀恭裕、渡部四郎両君のご尽力で立派にできたが、卒業時280名の約40%の方々が死亡・不明だったのは残念なことである。

高6回

「在京六甲会懇親会」

笠間 亮 記

会津若松地区では同級生の集まりが3つあったが、今年春に甚六会、二八会が解散し、ダイア会のみとなった。メンバーの死亡が原因だが残された者は余生を如何に過ごすかが命題だ。余談だが、旧知の先輩から今年5月、6月に聞いた話では、高2回卒Iさん、高3回卒Oさんから同級生の集会は全て解散したとの話で小生にも終活の道のりを教えてくれた。相田八四郎、古川實両君は元気で家業と佛道に注力。穴澤卯三郎氏は昨秋夫人を失ったが、精神科医の現役でゴルフも一緒。中澤剛君はRCパストがバナーと学園経営に尽力。大堀君は夫人と共に第九の会（合唱）で徳島、埼玉、ドイツに赴く活躍ぶり。渡部四郎君は会津史談会の重鎮で考古学に詳しい。武藤栄助君も健康を戻しつつあり、古川明君は大規模農機を運転し農業と地域貢献に熱心。最後に今年1月逝去の斉藤正弘氏、6月逝去の星徳哉氏の霊にお悔み申し上げ筆をおく。以上

平成29年の在京六甲会恒例の懇親会は、5月9日(火)銀座三笠会館本店二階フラス料理「榎名」において26名の会員が出席して開催されました。第一部講演は渡部幸世君による「ミュージック・ア・ラ・カルト」～音楽の楽しさ、素晴らしさ～人生を豊かにする五歳十一。感性は、人によって様々で、まさに「千人千色」同じ刺激に対して、誰もが同じ反応をするものでないことを、北原白秋の「砂山」に付けられた山田耕作、中山晋平の曲、ゲーテの「野ばら」に付けられた、シュールベルトとウエルナーの曲を聴き比べることで実感させてもらいました。ベートーヴェンなどの名曲のメロディがポピュラー曲になっている数々の実例も紹介されました。日本最初の、ベートーヴェンの第九交響曲の全曲演奏の陰に、旧会津藩

士を父にもつ、坂東俘虜収容所の所長、松江豊寿中佐の存在があることを初めて知りました。元ドイツ軍俘虜が後々まで語るほど素晴らしい人道的な立派な俘虜収容所長が会津藩士の子息であつたことに深い感銘を受けた。

第二部懇親会 物故者の

録し、記憶にないなどと言わない、井戸端会議は共謀罪に問われないう程度にとどめる。そして年相応に健康で、平穏な余生が遅れることを祈念して乾杯！。シヨートス（郷里の状況・鶴ヶ城のライトアップ）、佐久間良平君（読書雑感）、野崎邦彦君（長寿・健康の話）。パフォーマンス（お馴染み、岸喜志雄君のハーモニカ伴奏、渡部幸世君の指揮による「ふるさと」などの合唱。中締めな



しで流れ解散となりました。

高7回

「七朋会総会」「今後の運営について」

渡部 文夫 記

我々会津高校第7回卒業生一同は、昭和34年以来、同級生の有志が相集つて親睦の会を開き、名称を「七朋会」と名付けて今日まで

会員の繋がりをつないできました。その間、会員の親睦や親交の証を深める為に、毎年総会を開催し、会員を募つて会員相互の消息を知らせる「七朋会だより」を発行して、毎年総会出席通知を寄せた人に配布してきました。また、毎年の総会に合わせて、七朋会の記念になる時（還暦の祝、古稀の祝、傘寿の祝）には、特別の集会を開催して会員の皆さんの喝采を浴びてきました。それぞれの宴に集つた会員諸兄姉には、忘れたくない思い出になつている筈だと拝察します。我々すべての会員が後期高齢者の仲間入りをした現状に鑑み、我が「七朋会」

を従来通り会員を募つて運営することは無理な状況になつております。そこで我々「七朋会」は、傘寿の祝いの総会をもって活動を休止し、同窓会との連絡を主たる任務として現役の役員会で運営を存続し、会員の消息を収集して同窓会に連絡することを役員会で決定しました。

高11回

「喜寿のお祝い会」

萬實清一郎 記

私達昭和33年度卒業第11回生は、去る平成28年9月11日、会高同窓会総会の日、会高温泉「御宿東鳳」において、「喜寿をお祝いする会」を開催しました。

出席者は30名で、県外から14名、地元会津から16名の参加でした。昭和34年3月1日卒業したのは34名。平成28年度版同窓会員名簿によると、逝去48名、不明37名、住所空欄10名となっています。会に先立ち、ホテル内で養蚕神社宮司様からお祝

を受けました。病氣療養中の塚原嘉吉君も奥様の介助で特別に参拝できました。会高阿部護郎君進行のもと、山口豪志前同窓会長の発起人代表あいさつ、東山芸妓の祝舞、会津美里町長渡部英敏君の乾杯の発声で宴となりました。

我が「ゾロゾロ会」会員

は、最近、体調の変化（劣化？）や同級生の病いや訃報に接することが増え、「ゾロゾロ会」などと、複雑な心境を笑いにまぎらしていますが、この夜ばかりは元氣一杯の「ゾロゾロ会」でした。東山芸者10名と毎月の無尽でなじみのコンパニオン2名をあげ、日頃の屈託を忘れて、往時を懐しみ、来し方や現状を語り合いました。美人の酌を受け酌し、福地春喜君の三味線、芸者衆の踊り、カラオケなど大いに盛りあげられました。



高12回

「高貴高霊者の仲間」

黒岩 正明 記

昭和三五年卒の我々の集りは、伊藤俊郎君が主導し長い間三五会として何かのチャンスを作つては関東近辺で集まり、お喋りを楽しみ旧交を温めてきた。数年前からは中学時代のご縁を活用して会津女子高校の諸姉達にも参加を働きかけ、合同三五会として大いに盛り上がつていた。昨年いよいよ後期高齢者ならぬ高貴高霊者の仲間入りをする者が多い年になり、この機に伊藤君だけに運営の重責を負わせないで心機一転複数発起人を立て新機軸で集まろう、会の名称も合同珊瑚会としたらという案が出て、六月あたりから、発起人の高橋千代丸君、遠藤利信君等が昔よく使つた銀座の料理屋、世田谷の喫茶店などで数回集まり議論、企画し、五十嵐久芳君の御縁で会場と宿候補の「鎌倉わかみや」を紹介され皆で下見をし、次回の集まりは海が見える名利参詣を楽しめる鎌倉で12月1日午後3時集合と決める。早速案内状を会津や関東近辺の諸兄諸姉に送つたところ会高から35名、会女から18名の参加申出がある。当日は鎌倉駅で吉井君、高久君、伊東さん等が待ち構え、皆を引き連れて長谷寺、鎌倉大仏、鶴岡八幡宮等を参拝し、会場では酒井君、角田さん、長沼君、阿久津さん、堀川さん、柄本君、黒岩君等が受付で遠来の皆を出迎える。会津からは三五会会長の高藤健君や新井君、岩手からは三上君、工藤さん、福島から武藤君、富士からは小野君、会津坂下からは和田さん等が参加し挨拶、南相馬の渡部さんの日本舞踊、羽田さんの合唱指揮による両校歌斉唱などで宴会場に盛り上がり、二次会に流れ、各部屋に分かれてからも話が尽きない。翌日も朝から有志が鎌倉詣での続き。次回は元気な内に富士山近くでと、小野君に頼んで富士市近辺での開催

が内定。其れまで元気な名残り惜しみつつ散会。持つべきは良き友。

高16回

「二六回総会」

川崎 浩通 記

平成29年7月8日 会高一六会（昭和39年3月卒業同級会）の平成29年総会が大勢の会員の出席のもとに開催され（ルネッ



サンス中の島にて）事業報告・会計報告及び監査報告は滞りなく承認されました事を報告いたします。特に会員より6名の叙勲が報告され、皆さんから大きな祝福がありました。

- 赤城國臣君 瑞宝中綬章
- 金田 司君 瑞宝双光章
- 鈴木政英君 旭日小綬章
- 福島俊男君 瑞宝双光章
- 湯田一秋君 瑞宝双光章
- 渡邊泰夫君 旭日小綬章

総会後の懇親会では、遠来の（北海道小樽）伊藤忠孝君の乾杯の音頭、東京会の出席はありませんでしたが、宴会は盛り上がり、50年前の若かりし時の思い出等々あつという間に時間が経過し、千葉大君の応援歌で一旦閉め、二次会でも話は尽きなかったようです。

また星野瑛二君より材木町に、庭園・美術館・併設の事業の創設の説明があり、会員皆で応援しましょうとの発声がありました。

次回の総会へも是非、声を掛け合い、誘い合つて大勢の出席をお待ちしております。

高17回

「捨てる」

庄司 裕 記

「先日、大量の書物を処分したよ。貴重な本もあつたけどね」

同級生の親友がこともなげに言う。昨今、新聞や雑誌などで目にする「終活」であらう。人生の最期を迎えるにあつたの準備活動だ。古希を過ぎたばかりの十七回生が毎月三日に開いている無尽で、健康とともに話題に上る。自分にとっては大事な宝物であつても、残された家族には、あるいは邪魔になり、迷惑になってしまうこともある。しかし、分かつてはいても実行できないところが人間の弱さで、どの本を捨てるのか、残そうか、ぼくに至つては逡巡の毎日である。大量の本を処分した友人の潔さに比すと、なんて未練がましいのだからと、思つてしまう。それでなくても蓄えの少ない知能から、知識が削り取られてしまうような、そんな寂しさを感じるからである。

いくら貴重な本であつても捨てれば、それはゴミになる。ゴミに意味などあるはずがない。

十七回生の無尽のメンバーは十八名。商工会議所会頭や消防団長もいる。会場は当番の幹事の差配で決める。同時代を共有している同級生とはいつても、当然のことながら、好みも趣味も興味も関心もバラバラである。何を捨てて、何を残すかは個人の自由だから、口を挟む必要はないが、個人の範疇から「捨てるもの」と「残すもの」を社会問題に敷衍させて考へてもいいのではないか。残さなければならぬものの価値をいかに理解するかである。例えば、受け継がれてきた文化や歴史的な建造物、中心商店街など。残すべきものまで捨て去ってしまった結果、効率のみが優先される、ゆがんだ社会を生んだのではなかったか。来月の無尽は「勿体ない思想」をテーマに鮮肴佳酒を楽しみたい。

高35回

「五輪の歳の高三五会（たかさごかい）」

洪浩彰 記

平成二十八年十一月十二日、會津美里町は「ほつとびあ新鶴」に於いて、三十五回生による平成二十八年度高三五会。多忙の中、総勢三十一名、伏見幸雄先生、長沼悟詮先生、山ノ内壽太郎先生の御三名に來賓として参加頂け、それぞれ、老後の過ごし方、健康の大切さ、人生四訓、笑いを交えてのご挨拶。若林代表幹事挨拶に続き、三十五回生は金田高典君、小堀良太君、二名の友達を喪った報告があり、物故会員へ黙祷。

村松元生徒会長により乾杯の発声。そして悲しい報告の後は一転、羨ましいやら嬉しいやら、なんと会員2名の初婚報告。兩名の挨拶を皆、食い入るように聴きながらも、全員で祝福の拍手。

若林代表幹事の挨拶後よ



うやく、乾杯。その後は今昔談義、酔いと共に出がるボルテージ、しかし時は速いもの、あつという間の一次会、館内のスナックに場所を移し二次会、伏見先生からも見事な一曲、しかし、その後カラオケはそれ程は盛り上がりせず、なぜなら余りに咲いた話の華、四年ぶりの同窓会、そりや事欠かない話題、さらに場を宿泊部屋に変え三次会。深夜まで続く四方山話。なんとも酒好き話し好きな面々。これも、たぐさんの旨い酒を提供して頂いた先生方のお陰です。心より感謝致します。次回は東京五輪の歳に開催予定。元気な姿での再会を強く期待します。

高43回・44回・45回

「学而百年会」三會津坂下



入谷 康之 記

同窓会報でも何度か登場しております「学而百年会」(以後、百年会)の活動を紹介させていただきます。

「学而百年会」は、わが会津高校が創立100周年を迎えた平成2年に在籍していた高43回、44回、45回のメンバーからはじまりました。それから百年会は今年で11年目を迎え、いままでに30人以上の仲間と交流や親睦を重ねております。懐かしい同窓生との再会や新

たな出会い、また互いの活躍ぶりを讃えあつたりと、社会人になってからも会津高校同窓の深い絆や縁を感じております。

通例は会津若松市内で毎月開催しておりますが、今年4月には初めて会津坂下町で開催しました。初の移動例会だったこともあり、それまでのメンバーも気合いが入り数多く集結、さらに同じ坂下町や隣の湯川村に在住している新たな卒業生も加わり大盛況でした。

この夜は会津坂下町という初めての地域で、名産の馬刺し、また有名な地酒を堪能しながら心地よい時間を過ごすことができました。それと同時に、会津高校で出会った仲間ひとりひとりが固有の文化や歴史をもった地域で生まれ、その地域の人々のなかで育てられてきたのだと思ひ感慨深くさせられました。この移動例会の試みを通じて、わが会津高校がもたらした縁の深さと広がりをもっと感じさせられたい。これを機会として今後

「苦勞の思い出」

小湊 好廣 記

会津高校通教同窓会を開催することを決定し、平成29年同窓会を開催

日時 平成29年3月28日(火) 午後5時集合
場所 東山温泉原瀧

議事
・会務の報告・会計報告
・会計監査報告・活動方針などを決め役員改選を次の通り決定し、懇親会になった。
懇親会では働きながら学んだ事を想い、夜の更けるのも忘れ交流を深めた。
平成29年現在の役員
会長 小湊 好廣
副会長 小湊 好廣

山内 明
永戸 正昭
会 計 田中 揄一
庶務 坂内 久男
遠藤 永子



在会高8期会開催案内
・平成29年10月17日(火) 12時受付
・ホテルグランドヒル 市ヶ谷西館東京閣
・連絡先 菊池良輝
043・253・0353

「会長杯」

第9回ゴルフ大会・第8回囲碁大会・第6回将棋大会

恒例となりましたこの行事は、5月5日(金)に一斉に開催されました。

例年のように元気な顔ぶれが揃い、和やかな中にも勝利への闘志を秘め、

楽しい一日となりました。ゴルフは「会津磐梯カントリークラブ」に184名が

参加し、競技終了後は「ルネッサンス中の島」に移動して、表彰式と懇親会が

行われました。囲碁と将棋は「ルネッサンス中の島」の同一会場で開催され、

5時からは、表彰式と懇親会も行われました。例年のようにたくさんの方から、

ご協賛の賞品をいただき、ありがとうございました。

ゴルフ大会

恒例となった第9回同窓会「会長杯」ゴルフ大会は、例年どおり、5月5日に過去最多

となる184名の参加を得て会津磐梯カントリー

クラブで開催されました。特に、初めてOGが参加する

という画期的な大会となりました。

今年度は、最多の参加人数ということもあり、表彰式

のテーマを「時短&華やかさ」としました。表彰式の時

間をオーバードライに招請して華を添えました。

今後の大会でも表彰式の時間短縮はテーマであり続け

ると思われまます。そのためにも、幹事学年と前年度の幹

事学年との引き継ぎを徹底し、データの共有化を図るこ

とが肝要と考えます。

さて、今回も、鈴木毅君の指揮で校歌、小熊慎司君の

指揮で凱旋歌、永田先輩の乾杯の拍手と続き、最後に渡

邊泰夫先輩の十八番である「花火型一本締め」で同窓生

の心がひとつになったところでお開きとなりました。

このゴルフ大会を最初に企画された山口豪志前会長、

協賛を頂いた各事業所、運営の協力を頂いた磐梯カント

第9回「会長杯」ゴルフ大会成績表

団体戦

優勝	高27回	(猪俣孝之 渡部和彦 太田幸雄)
準優勝	高34回	(鈴木定 東瀬多美夫 鶴川俊一)
3位	高15回	(新井田傳 大石直 河原田保佑)
4位	高22回	(小野亮 鈴木俊行 寺川俊治)
5位	高13回	(安部哲夫 海老ヶ瀬義雄 佐藤洋一)

個人戦

		GROSS	HDCP	NET
優勝	猪俣孝之(高27回)	82	13.2	68.8
準優勝	齋藤賢一(高41回)	103	33.6	69.4
3位	新井田傳(高15回)	88	18.0	70.0
4位	鈴木定(高34回)	85	14.4	70.6
5位	満田盛護(高30回)	77	6.0	71.0

リークラブの皆さま、開催日までご指導を頂いた同窓会幹部の皆さまに改めて感謝を申し上げます。

安西 秀一(高24回)記





囲碁大会

恒例の囲碁大会が、五月五日、ルネッサンス中の島で開催された。会中、会高卒後十一年の同窓生が集い、腕を競った。千葉宏（高八回）事務局長の指揮のもと、皆川義男実行委員長（高一九回）、杉原一成（高二六回）審判長、他に実行委員の面々（川島道雄、古宮正雄、福西宜孝。以上高一九回）がそれぞれの役割を分担した。

試合は、戸川稔朗（高一九回）副会長の挨拶の後開始された。試合形式は、例年どおりAクラス（四段以上）とBクラス（三段以下）に分かれ、持ち時間三〇分のハンデ戦。五試合の織烈な戦いの結果、成績は後記のとおりになった。

Aクラス優勝の杉原一成氏は、八段として出場。対戦相手に置石を置かせながらも玉戦全勝。さすが、県大会優勝経験者の実力はレベルが違う。Bクラス優勝の松本肇氏（中五一回）は、御年齢八十八歳との由。囲碁で鍛えた頭脳は、明晰そのもので全く衰えない。

試合のあとは、将棋の部と合同で表彰式と懇親会が行われた。最初に、新城猪之舌（高二一回）会長の挨拶があった。表彰式では、同窓生の協賛企業から寄贈された品々が、参加者に景品として配られた。懇親会では、囲碁談義と健康談義（囲碁の参加者は、全員還暦経験者）に花が咲いた。

最後に、連休の中日にもかかわらず、家庭を顧みることなく（否、家族から顧みられることなく）ご参加いただいた皆様に感謝。又、多くの景品をご提供下さった同窓生の皆様に御礼申し上げたい。そして、毎年、裏方に徹して（試合に出場されず）事務手続全般を取りまきついでいた千葉宏先生に、深甚なる敬意を表したい。来年は、「還暦がまだこない若手」にも参加いただくとを期待してペンを置くこととします。

福西 宜孝（高19回）記



囲碁成績表

Aクラス（四段以上）一五名参加						Bクラス（三段以下）一〇名参加					
順位	氏名	段位	卒業	順位	氏名	段位	卒業				
優勝	杉原一成	八	高二六回	優勝	松本肇	二	中五一回				
準優勝	福西宜孝	四	高一九回	二位	平出達朗	三	高三回				
三位	君島 整	四	元職員	三位	戸川兼一	三	高二〇回				
四位	東瀬紘一	四	高一〇回	四位	佐藤紘一	三	高一三回				
五位	稲田盛夫	七	高七回	五位	真壁 正	初	高二一回				

大会役員

- ゴルフ**
 実行委員長 安西 秀一（高24回）
 運営幹事学年 高24回
 競技委員長 安部 哲夫（高13回）
 フェローシップ委員長 渡邊 泰夫（高16回）
- 囲碁**
 大会実行委員長 皆川 義男（高19回）
 大会審判長 杉原 一成（高26回）
 実行委員（高19回）
 川島 道雄
 古宮 正雄
 福西 宜孝
- 将棋**
 実行委員長（審判長）
 佐藤 中一（高2回）
 実行委員
 長谷川 克（高24回）



「あゝ、将棋 この永遠なるもの!!」

将棋大会 (長谷川 克まさる (高24回) 記)

将棋界に於ける今年度の話題は、①Aー対現役役名人の対局、②藤井聡太君(14歳)の活躍に尽きるだろう。

Aーはチェスに続いて、将棋の佐藤名人、囲碁の井山六冠、中国の柯潔九段を圧倒勝利して、Aー対人間の対戦にピリオドを打った。

将棋の対局では、コンピューターと人間の思考過程の差異も窺われ、序盤に人間は駒得を重視するが、Aーは駒損を忘れずに駒組を優先し、中盤で優位を築くと終局まで一気に寄せ切る。

藤井君は史上最年少の14歳2ヶ月でプロデビューし。30年振りに公式戦29連勝の新記録を樹立したが、彼が百年に一人の逸材であることは疑いを挟まない。

藤井君を見ていて感じることは「謙虚」かつ「自然体」の振る舞いである。

加藤一二三との対局中三時のお八つに、彼は加藤がカマンベールとチョコレートを食べ終わるのを待って、徐々にチョコを口に含んだという。

また対局中席を外す時や戻ってから、相手に黙礼する姿は清らしい。

Aーと中学生棋士の暴力的な勝利は【対局の勝敗には、過去の人生経験が関わる】という昭和来神話を完全に否定した。

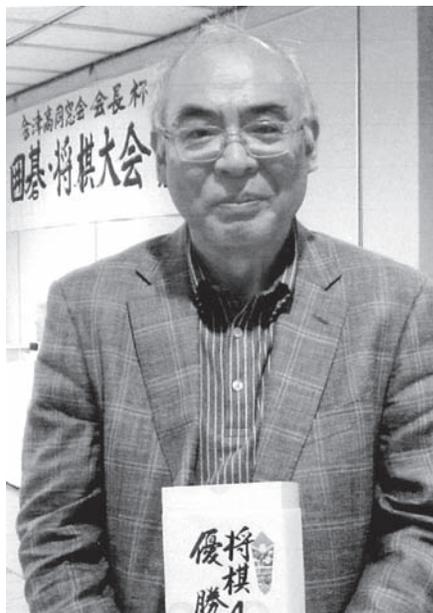
◇第六回 同窓会将棋大会

▼Aクラス ①大森茂光(高18)、②三星恵介(高30)

③渡部良一郎(高27)

▼Bクラス ①神山広志(高20)、②白井章夫(高28)

③船木義男(高24)



平成 29 年会高同窓会「会長杯」協賛企業様一覧 ご協力に感謝申し上げます。

会津天宝醸造(株)
 (株)会津磐梯カントリークラブ
 会津ヤクルト販売(株)
 (名)畔越商店
 会津交通株式会社
 会津商工信用組合
 會津通運(株)
 (有)あいづ松川
 (株)会津コンタクト
 会津酒造(株)
 会津村
 (株)会津ガラス
 (株)安西商会
 (株)イリタニ
 いしかわ歯科医院
 稲川酒造店
 えんどうクリニック
 (株)エナジー
 大関家具店
 餃子のおおすか
 (株)小沼漆器店
 株式会社 頭幸
 (株)幸楽苑

さくらクラブ
 サロンドニット
 (株)サポートワンあいづ
 財界ふくしま
 白井酒造
 末廣酒造(株)
 鈴善漆器店
 鈴木内科消化器科クリニック
 (株)関美工室
 ゼビオコーポレート(株)
 セブンイレブン会津西七日町店
 セブンイレブン会津高瀬店
 ソースカツ丼の店 なかじま
 (名)高砂屋商店
 (合)辰泉酒造
 一般財団法人 竹田健康財団
 タカラ薬局
 ダイハツ福島(株)
 鶴乃江酒造(株)
 (株)塚原金物
 (株)東邦銀行
 名倉山酒造(株)
 (株)二丸屋山口商店

ネットヨタ郡山(株)
 花春酒造(株)
 林合名会社
 (株)ハヤオ
 坂下清掃(有)
 磐梯酒造店(株)
 合資会社廣木酒造本店
 (株)福西惣兵衛商店
 (株)不動産信託リサーチ
 丸果会津青果(株)
 (医)前田眼科医院
 松浦商事(株)
 丸善商事(株)
 (有)米夢の郷
 (有)毎商会津
 宮泉銘醸(株)
 (有)峰の雪酒造場
 メンテナンス会津(株)
 ハツ橋設備(株)
 (株)山新商店
 (有)吉田工業所
 (株)リオンドールコーポレーション
 (敬称略・順不同)



平成 28 年「やすらぎの碑」献花祭に参加された方々



平成 28 年 総会風景

編集委員名

- 委員長 佐藤 紘一
 - 学校主任 瓜生 一浩
 - 会計 大木 孝之
 - 校内担当者
 - ・ 半野 裕務
 - ・ 遠藤 紀通
 - ・ 増井 伸郎
 - ・ 棚木 武彦
 - ・ 室井 真仁
 - ・ 川島 香織
 - ・ 馬場 淳平
 - ・ 本多 克至
 - 顧問 千葉 宏
 - ・ 佐藤 隆夫
- (同窓会幹事長 太田伸)



第2回 編集委員会 (8月14日) 参加者

編集後記

今年度の会報も、皆様のご協力により、早く完成しました。

担当して2年目になり、全体の手順も少し分かるようになりました。しかし、送付される原稿や写真が、封書、FAX、CD、メールと多岐にわたっており、寄稿者とのコミュニケーションで失礼することも多々ありました。また、同じ組織内から複数の原稿や写真が別々に送付され、混乱したこともありました。

今回の47号では、特色ある方々から興味深い寄稿をしていただきました。

塚原氏は国を代表する外交官でした。その経験に基づいた文章からは、人類愛にあふれた高貴な人柄が感じられました。

山内氏の「会津の鍛冶」についての調査概要は、会津の優れた庶民文化に目を向けられたものです。その資料収集を願う、という姿勢の郷土愛が見られました。

全国各地から、同窓生の現況を知らせていただきましたが、その元気な姿の根っこには会津中学、高校時代に対する懐旧の念が見られました。この小冊子が皆様方をますます元気にする一助となることを願って編集して参りました。

編集委員長

佐藤 紘一 (高13回)

印刷所 (株) 丸八 会津若松市馬場町一四一

FAX 〇二四二二二四二二一

〇二四二二二四一五三